

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	14161				
事務事業名	水道事業費			会計	一般会計				
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	4	項	1	目	6
施策目標	上水道の整備								
後期計画掲載頁		頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等 地方公営企業繰出金について（繰出基準）	

事業の概要
 ・一般会計から水道事業会計に対し、繰り出し基準に基づく経費の繰出しを行い、経営の健全化を促進する。

事業の目的
 ・繰出し基準に基づく経費について、一般会計から水道事業へ繰出す。

事業内容
 ・繰出し金：1,194千円（地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費の一部）

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	1,926千円	1,438千円	1,194千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	1,926千円	1,438千円	1,194千円

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値（％）	目標値
①	繰り出し金	千円	1,926	1,438	1,194	—	—
②						—	—
③						—	—

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値（％）	目標値
①						—	—
②						—	—
③						—	—

2. 数値で表せない効果
 （指標）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 この繰出し金は、地方公営企業職員に係る児童手当法に規定する児童手当の給付に要する経費の一部であり、職員の人事異動等により変動する。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	継続 評価点合計 18 / 18	繰出し基準は、地方公営企業の実態に即した経費が対象となり、状況により見直されることがある。このため、今後も国からの通知等を確実に収集し、的確に対処する必要がある。				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	14162				
事務事業名	簡易水道事業費			会計	一般会計				
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	4	項	1	目	6
施策目標	上水道の整備								
後期計画掲載頁	94		頁	個別計画					頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 ・一般会計から公営簡易水道事業に必要な経費を繰出する。

事業の目的
 ・必要な経費について、一般会計から水道事業へ繰出す。

事業内容
 ・繰出し金：149,306千円

事業費 財源内訳	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	総事業費（決算額）	154,609千円	147,048千円	149,306千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	154,609千円	147,048千円	149,306千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	前年度（H28） 目標値	達成率 （%）	次年度（H29） 目標値
	①	繰り出し金	千円	154,609	147,048	149,306	—	—
	②						—	—
	③						—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 （指標）								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 公営簡易水道事業の運営に必要な経費を一般会計から繰入れており、経費の節減が求められる。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
		3	3	3	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続 評価点合計	繰出し基準は、地方公営企業の実態に即した経費が対象となり、状況により見直されることがある。また、その経費の一部は地方交付税で措置されるため、適正な範囲で最大限活用するとともに、今後も国からの通知等を確実に収集し、的確に対処する必要がある。					
	18	18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	14163
事務事業名	温泉引湯事業費			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	4 項 1 目 6
施策目標	水資源の保全と活用				
後期計画掲載頁	頁	個別計画	頁		
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等 地方公営企業繰出金について（繰出基準）					

事業の概要
 ・一般会計から温泉引湯事業会計に繰り出し基準に基づく経費の繰出しを行い、経営の健全化を促進する。

事業の目的
 ・繰出し基準に基づく経費について、一般会計から温泉引湯事業へ繰出す。

事業内容
 ・繰出し金：240千円（地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費の一部）

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	0千円	240千円	240千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	0千円	240千円	240千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 繰り出し金	千円	0	240	240	—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 （指標）							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 この繰出金は、地方公営企業職員に係る児童手当法に規定する児童手当の給付に要する経費の一部であり、職員の人事異動等により変動する。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	繰出し基準は、地方公営企業の実態に即した経費が対象となり、状況により見直されることがある。このため、今後も国からの通知等を確実に収集し、的確に対処する必要がある。				
	評価点合計	18	/ 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	14216		
事務事業名	合併処理浄化槽設置推進事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	4	項	2
施策目標	下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	6	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要

- この事業は、下水道事業の集合処理区域外における浄化槽設置者に、設置費用の一部を補助するとともに、大町市浄化槽管理組合に対し、浄化槽の維持管理事業に要する経費の一部を補助するものである。

事業の目的

- 浄化槽設置に対する経費と、その維持管理に対して行う支援及び推進

事業内容

- 浄化槽設置事業補助金（浄化槽設置者に対し、設置する浄化槽の人槽区分に応じて補助金を交付）
補助金：41,399千円
- 浄化槽管理事業補助金（市浄化槽管理組合に対し、浄化槽の維持管理事業に要する経費を補助）
補助金：31,413千円

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	83,612 千円	73,571 千円	73,062 千円
	国庫支出金	9,742 千円	14,419 千円	1,255 千円
	県支出金	10,105 千円	8,093 千円	7,581 千円
	起債			
	その他財源			
	一般財源	63,765 千円	51,059 千円	64,226 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	浄化槽設置数	63	49	47	55	85.5%	50
②	維持管理対象基数	1,521	1,544	1,573	1,600	98.3%	1,600
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	水洗化率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0
②							
③							

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

浄化槽の設置基数は、ほぼ横ばいで減少に転じる見込みはない。このため、管理補助に対する一定の予算確保が必要となる。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続	個別処理区域に浄化槽を設置することにより、市域全体で下水道整備の取り組みが促進される。これにより、公共下水道等の他の下水道事業と一体的な整備が図られることとなり、市域全体にわたる河川等公共用水域の水質保全に寄与することができる。				
	評価点合計	18	18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	16221		
事務事業名	農業集落排水事業運営費			会計	一般会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	6	項	2
施策目標	下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 ・一般会計から農業集落排水事業会計に繰り出し基準に基づく経費の繰出しを行い、経営の健全化を促進する。

事業の目的
 ・繰出し基準に基づく経費について、一般会計から農業集落排水事業へ繰出す。

事業内容
 ・繰出し金：90,021千円

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	85,483千円	84,783千円	90,021千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源	85,483千円	84,783千円	90,021千円
	一般財源	0千円	0千円	0千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 繰り出し金	千円	85,483	84,783	90,021	—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 この繰出し金は、各種適正な繰出し基準のもとで繰出す経費であり、一部は交付税措置されることから、有効に活用することが必要である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続	繰出し基準や国の補助等は、地方公営企業の実態に即した経費が対象となり、見直されることがある。また、その経費の一部は地方交付税で措置されるため、適正な範囲で最大限活用するとともに、今後も国からの通知等を確実に収集する必要がある。				
	評価点合計	18	18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	1715107
事務事業名	温泉供給事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	7 項 1 目 5
施策目標	水資源の保全と活用				
後期計画掲載頁	107	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等 上原地区、高瀬分譲地温泉施設管理要綱					

事業の概要
 ・この事業は、上原地区、高瀬分譲地における安定した温泉供給事業の運営と、大町温泉郷の配湯施設に対する計画的な更新及び保守を的確に行うものである。

事業の目的
 ・温泉施設の適正な維持管理及び計画的な更新

事業内容
 ・温泉施設の適切な更新、維持管理及び料金徴収
 ・配湯管布設替え（大町温泉郷） L=804m

事業費	財源内訳		平成26年度	平成27年度	平成28年度
		総事業費（決算額）	40,292 千円	46,710 千円	119,219 千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		起債			86,200 千円
		その他財源	30,408 千円	45,301 千円	26,073 千円
	一般財源	9,884 千円	1,409 千円	6,946 千円	

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	源泉改修	箇所	1	0	0	0	—	0
	②	配湯管更新	m		254	804	800	100.5%	836
③									

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	配湯管更新進捗状況	%	0	1.9	23.5	23.4	100.4%	45.9
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標①）配湯管更新により漏湯を防止し、温泉の有効利用を図る。									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 温泉郷内における循環方式の配湯施設は、漏湯している管渠が全て整備されないと効果が出ないため、残された未整備区間についても、整備を急ぐ必要がある。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である
	点数	3	2	3	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	継続	当事業は上原、高瀬分譲地、大町温泉郷の3地区の配湯施設を一元的に管理し効率的な運営に努めているが、今後も適正な施設の維持管理と、老朽配湯管等の計画的な更新が求められる。また、温泉の供給は市の観光振興や市民福祉の向上も果たすため、その役割は大きく、他の振興策と一体的な取組が必要となる。					
	評価点合計	17 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	18461		
事務事業名	公共下水道事業運営費			会計	一般会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8	項	4
施策目標	下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95		頁	個別計画			頁
事業期間	平成		年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要

- 一般会計から公共下水道事業会計に繰り出し基準に基づく経費の繰出しを行い、経営の健全化を促進する。

事業の目的

- 繰出し基準に基づく経費について、一般会計から公共下水道事業へ繰出す。

事業内容

- 繰出し金：671,824千円

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	628,454 千円	636,097 千円	671,824 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源	628,454 千円	636,097 千円	671,824 千円
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 繰り出し金	千円	628,454	636,097	671,824	—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

この繰出し金は、各種適正な繰出し基準のもとで繰出す経費であり、一部は交付税措置されることから、有効に活用することが必要である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続	繰出し基準や国の補助等は、地方公営企業の実態に即した経費が対象となり、見直されることがある。また、その経費の一部は地方交付税で措置されるため、適正な範囲で最大限活用するとともに、今後も国からの通知等を確実に収集する必要がある。				
	評価点合計	18	18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	121112		
事務事業名	一般管理経費			会計	公営簡易水道事業特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	1
施策目標	上水道の整備						
後期計画掲載頁	94	頁	個別計画				頁
事業期間	平成18年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 特別会計で運営している公営簡易水道事業の一般管理業務を的確に遂行する。
-------	---------------------------------------------------------------------------------------

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 一般管理経費を適正に執行し、健全な運営を図る。
-------	---------------------------------------------------------------------------

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 公営簡易水道事業の運営 一般管理業務：検針業務委託、固定資産調査委託、施設等損害賠償保険ほか
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	3,724千円	2,868千円	21,786千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	3,724千円	2,868千円	21,786千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値（％）	目標値
①	検針数	件	5,967	5,973	5,980	5,980 100.0%	5,985
②							
③							

成果指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値（％）	目標値
①						—	—
②						—	—
③						—	—
2. 数値で表せない効果							
(指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

簡易水道事業は、H31年度に企業会計への移行を予定しており、H27年度から資産等の調査を実施しているが、山間地における水道管の埋設位置が不明な箇所もあり、今後の課題となっている。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続	今後は企業会計への移行に向けて準備を更に進める必要があるが、平成18年の合併協議会での申合せ事項により、平成32年度までに大町水道事業との水道料金の統一について検討することになっており、今後、経営状況が明らかになる中で、料金統一については、それぞれの水道利用者の理解を得て進めていく必要がある。				
	評価点合計	18	18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	121113		
事務事業名	繰越明許費一般管理経費			会計	公営簡易水道事業特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	2	項	1
施策目標	上水道の整備						
後期計画掲載頁		頁	個別計画				頁
事業期間	平成18年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 特別会計で運営している公営簡易水道事業の固定資産調査及び評価を行う。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 企業会計への移行に向け、固定資産調査及び評価を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 公営簡易水道事業の固定資産調査委託を行う。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	千円	千円	8,824 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	6,900 千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	千円	1,924 千円

指標名		単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	前年度（H28） 目標値	達成率 （％）	次年度（H29） 目標値
①	固定資産評価	千円			8,824	—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（％）	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 （指標）							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

簡易水道事業は、H31年度に企業会計への移行を予定しており、H27年度から資産等の調査を実施しているが、山間地における水道管の埋設位置が不明な箇所もあり、今後の課題となっている。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	普通	重複なし	高い
点数	3	2	2	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	継続 評価点合計	今後は企業会計への移行に向けて準備を更に進める必要があるが、平成18年の合併協議会での申合せ事項により、平成32年度までに大町水道事業との水道料金の統一について検討することになっており、今後、経営状況が明らかになる中で、料金統一については、それぞれの水道利用者の理解を得て進めていく必要がある。				
	16	18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	121211		
事務事業名	水道維持管理事業			会計	公営簡易水道事業特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	2
施策目標	上水道の整備						
後期計画掲載頁	94	頁	個別計画				頁
事業期間	平成18年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 ・簡易水道施設における維持管理業務全般を適切に管理・遂行し、安全で安定した水道水を供給する。

事業の目的
 ・適切な維持管理による水道水の安定供給

事業内容
 ・[修繕] 施設等の修繕
 ・[委託] 水質検査、水道施設電気計装・機械設備点検、水道台帳整備

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	44,591 千円	42,591 千円	33,065 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	44,591 千円	42,591 千円	33,065 千円

指標名		単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	前年度（H28） 目標値	達成率 （％）	次年度（H29） 目標値
①	原水・浄水水質検査	箇所	27	27	27	27	100.0%	27
②	計装設備保守点検	箇所	35	35	35	35	100.0%	35
③								

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（％）	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—
2. 数値で表せない効果 （指標）								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 簡易水道事業は水源や配水池が多く、高低差もあるため電気機械施設が多く、これらの定常的な維持管理経費や水質検査などの義務的な経費も含まれるため、これらに関わる経費削減は難しい。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	低い
点数	3	3	3	3	1	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	継続 評価点合計 16 / 18	H28～29年度に簡易水道事業のアセットマネジメントを実施しており、今後はこの計画に従い、効果的な施設更新や、維持管理を実施することで、持続可能な簡易水道事業の確立を図る。				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	122111
事務事業名	水道施設整備事業			会計	公営簡易水道事業特別会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	2 項 1 目 1
施策目標	上水道の整備				
後期計画掲載頁	94	頁	個別計画		頁
事業期間	平成18年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要

- ・災害時等における水源のバックアップを図る連絡管の新設や、老朽化した送・配水管の布設替及び水源ポンプ場や配水池に設置している電気計装・機械設備の更新を計画的に実施し、水道水の安定供給を図る。

事業の目的

- ・災害に強い簡易水道の施設整備と適切な維持管理

事業内容

- ・連絡管新設：L=420m
- ・送配水管布設替え：L=510m
- ・電気機械設備更新：7か所

事業費	年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
	総事業費（決算額）		40,601 千円	65,935 千円	57,910 千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		40,601 千円	65,935 千円	57,910 千円	

活動指標			平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	連絡管新設	m	575	460	420	450	93.3%	450
	②	送配水管布設替	m	372	718	510	484	105.4%	520
	③	電気計装・機械設備更新	箇所	6	8	7	7	100.0%	7

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標①)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

中山間地域に位置する簡易水道は、管渠延長が長くなりポンプ施設も必要となることから、施設の維持管理費や建設改良費が割高となる。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	低い	適正である
	点数	3	3	3	3	1	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続 評価点合計 16 / 18	小規模な水源を数多く有する簡易水道は、点在する集落へ水道水を供給するため配水池も多くなり、施設の維持管理をはじめ、気象や自然災害等による影響を受けやすい。 このため、今後も安定した水道水の確保を図るためには、必要性や緊急性に応じた計画的な管渠整備や、異常発生の際に的確な状況把握が可能となる監視装置などの整備が必要である。					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	401111
事務事業名	安心・快適な給水の確保及び事業経営の健全化			会計	企業会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	項
施策目標	上水道の整備				
後期計画掲載頁	94	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要

- 水道水源の保全、及び老朽施設の計画的な更新や耐震化を推進することで、安全な水道水を安定して供給し、水道事業経営の健全化を図る。

事業の目的

- 生活用水その他の浄水を市民に供給する。

事業内容

- 水道事業の健全経営：純利益108,903千円
- 有収水量：2,793千㎡

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	建設改良費(税込)	91,803千円	136,430千円	139,004千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	工事負担金等	9,313千円	1,730千円	11,195千円
	自主財源	82,490千円	134,700千円	127,809千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)
①	水道事業収益(税抜)	千円	546,267	539,006	533,875	541,701	98.6%
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)
①	純利益(税抜)	千円	85,643	109,977	108,903	110,527	98.5%
②	現金預金	千円	797,568	836,920	876,784	841,105	104.2%
③							
2. 数値で表せない効果		(指標)					

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

当事業の水源は、山麓から湧き出す湧水で、水源から給水区域までの距離が長い為、管路施設の耐震化や更新に要する費用が他の事業体に比べて割高な状況である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(事業改善案等)					
	今後の方向性	継続	既存施設の更新計画を的確に実行し、持続可能で健全な水道事業の経営を実現していくためには、長期的な視点に立ちアセットマネジメントによる資産管理の手法を導入し、水道施設のライフサイクルコストを抑えるとともに、更新需要・財政収支見通しに基づく計画的な施設更新・資金確保を図り、効率的に水道施設を管理運営することが必要である。				
	評価点合計	18	18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	401112
事務事業名	原水供給事業の継続			会計	企業会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	項
施策目標	上水道の整備				
後期計画掲載頁	94	頁	個別計画		頁
事業期間	平成18年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要

- 水道事業の附帯事業として、矢沢水源の水道原水の余剰水を飲料水製造会社に供給し、営業外収益を確保するとともに、地元の働く場も併せて確保を図る。

事業の目的

- 湧水水源の有効利用

事業内容

- 原水供給量
V=186,479m³

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	千円	千円	千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	千円	千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値（%）	目標値	
①	原水供給収益（税抜）	千円	28,149	29,015	29,837	29,160	102.3%	30,135
②	原水供給量	m ³	175,933	181,346	186,479	182,250	102.3%	188,344
③								

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値（%）	目標値
①						—	—
②						—	—
③						—	—

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

水源から猫塚接合井までの間で、一部老朽化の進んだ導水管が存在（矢沢と鹿島川の横断部）するため、確実な布設替えについて検討を行い、原水の安定供給の確保を図る必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	拡大	豊富で清浄な湧水水源を所有する当事業は、自然に湧き出る水源の余剰水を有効利用するため、この原水供給事業を始めたが、少子高齢化などによる有収水量の減は、さらに余剰水を増加させることになるため、今後も原水供給事業を拡大することは可能であり、湧水水源を有効に活用できる当事業の強みでもある。 一方、原水を利用する飲料水製造会社は、いまや国内のみならず、海外にまでその販路を拡大しており、今後も安定した原水供給の需要が見込まれる。				
	評価点合計	18	18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	401113
事務事業名	温泉の安定的な供給体制の確立			会計	温泉引湯事業会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	項
施策目標	水資源の保全と活用				
後期計画掲載頁	107	頁	個別計画		頁
事業期間	平成11年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 大田市温泉引湯事業実施要綱

事業の概要
 ・本事業は平葛地籍にある4つの源泉から温泉を集め、上原地籍の分湯施設まで約7.8kmを引湯し、温泉利用者に温泉を供給する事業である。

事業の目的
 ・市内の観光振興、地域開発及び市民生活の向上を図る。

事業内容
 ・温泉供給（基本湯量は毎分1200リットル）
 大町温泉郷をはじめとする9社の温泉利用者に温泉を供給

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	49,376千円	50,198千円	54,666千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源	49,376千円	49,958千円	54,426千円
	一般財源	0千円	240千円	240千円

指標名		単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	前年度（H28） 目標値	達成率 （%）	次年度（H29） 目標値
①	温泉引湯事業収益（税抜）	千円	66,792	96,816	65,493	66,840	98.0%	64,780
②	年間総供給湯量	m ³	582,890	582,890	582,890	582,890	100.0%	577,634
③								

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値
①	純利益（税抜）	千円	17,416	46,618	10,827	6,777	159.8%
②	現金預金	千円	176,265	179,446	202,645	154,593	131.1%
③							
2. 数値で表せない効果 （指標）							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 老朽化の進んでいる施設であるため、長寿命化計画を策定し、平準的な施設更新に取り組み、安定した供給体制を確保する必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い
点数	3	2	3	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 17 / 18	施設面では、引湯施設の適正な維持管理に努めており、基本湯量の確保と安定供給ができています。一方、財政面では、温泉購入代の見直しに伴い、28年度に温泉利用料を改定したが、今後も健全な経営が継続できるよう、定期的な利用料の見直しに取り組む必要があります。				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	501113
事務事業名	接続促進事業			会計	公共下水道事業会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	項
施策目標	下水道の整備と水洗化の促進				
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画		頁
事業期間	平成16年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要
 ・下水道接続促進の各種支援と訪問相談員による未接続者への訪問相談

事業の目的
 ・公共下水道への接続促進

事業内容
 ・接続促進支援
 下水道排水設備工事資金融資斡旋及び利子補給、下水道接続促進補助金
 ・訪問相談員の活動
 訪問相談件数：1,120件

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	1千円	639千円	4,970千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	1千円	639千円	4,970千円
	一般財源	0千円	0千円	0千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	下水道接続促進補助金	1	1	0	3	0.0%	2
②	訪問相談件数	0	321	1120	1000	112.0%	1150
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	下水道接続件数	157	92	127			
②							
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 下水道に接続できない主な理由は、一人世帯の高齢化や低所得によるものが多く、今後も丁寧な説明を粘り強く行うことで未接続者の理解を得ることが必要である。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い
点数	3	2	3	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	今後も少子高齢化等により、接続件数の向上は緩やかになるものと推測しているが、住宅性能向上リフォーム事業など有利な支援事業を利用し、一人でも多くの未接続者を減らすことが必要である。				
	評価点合計	17 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	501213
事務事業名	公共下水道建設改良事業			会計	公共下水道事業会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	項
施策目標	下水道の整備と水洗化の促進				
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画		頁
事業期間	平成2年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要
 ・公共下水道施設の改築・更新等を計画的に実施する。

事業の目的
 ・市民の公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図る。

事業内容
 ・管渠施設
 管渠整備：L＝800m
 ・処理場施設
 長寿命化計画・耐震化実施計画に基づく施設の改築・更新等（大町浄水センター及び松川浄水苑）

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	建設改良費（税込）	97,532千円	223,100千円	319,871千円
	国庫支出金	24,150千円	51,700千円	136,900千円
	県支出金			
	起債	40,900千円	145,400千円	145,100千円
	その他財源	32,482千円	26,000千円	37,871千円
	一般財源	0千円	0千円	0千円

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値（％）	目標値
①	管渠布設	km	0.4	0.7	0.8	0.9	88.9%
②	整備面積	ha	0.4	3.4	4.5	2.4	187.5%
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値（％）	目標値
①	整備率	％	86.8	87.0	88.0	87.5	100.6%
②							
③							

2. 数値で表せない効果
 （指標）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 処理場施設については、長寿命化や耐震化対策が計画的に施されてきたが、管渠施設については、今後となるため、的確な調査を実施し、効率的な改修・更新が必要となる。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 評価点合計 18 / 18 今後も老朽化する施設が増加する中で、施設のライフサイクルコストの最小化や予防保全型管理を行うとともに、施設全体を一体的に捉え、計画的かつ平準的に改築・更新を推進する必要がある。				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	601211
事務事業名	農業集落排水建設改良事業			会計	農業集落排水事業会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	項
施策目標	下水道の整備と水洗化の促進				
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画		頁
事業期間	平成6年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要
 ・農業集落排水施設の改築・更新等を計画的に実施する。

事業の目的
 ・市民の公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図る。

事業内容
 ・管渠施設
 公共柵設置：1箇所
 ・処理施設
 最適化構想策定

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	建設改良費（税込）	4,492千円	7,624千円	7,687千円
	国庫支出金	4,000千円	6,500千円	7,000千円
	県支出金			
	起債			
	その他財源	492千円	1,124千円	687千円
	一般財源	0千円	0千円	0千円

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）
①	公共ます設置	箇所	2	2	1	1	100.0%
②	最適化構想	式	健全度調査	機能診断業務	構想策定		
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）
①	有収水量	m ³	70,900	70,423	71,057	70,775	100.4%
②							
③							
2. 数値で表せない効果 （指標）							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 処理場やマンホールポンプの保守や維持管理を効率的に行うため、これらを一括した包括的民間委託の導入を検討する必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続	今後も老朽化する施設が増加する中で、施設のライフサイクルコストの最小化や予防保全型管理を行うとともに、施設全体を一体的に捉え、計画的かつ準的に改築・更新を推進する必要がある。				
	評価点合計	18	18				